



## 2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年1月30日

上場会社名 橋本総業ホールディングス株式会社 上場取引所 東  
コード番号 7570 URL <http://www.hat-hd.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 橋本 政昭  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 財務部長 (氏名) 佐々木 地平 TEL 03-3665-9000  
配当支払開始予定日 -

決算補足説明資料作成の有無： 無

決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨)

### 1. 2025年3月期第3四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	122,423	5.6	1,888	△0.4	2,839	1.9	1,877	6.7
2024年3月期第3四半期	115,877	5.8	1,895	△6.8	2,787	△2.5	1,759	△10.0

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 2,425百万円 (△3.3%) 2024年3月期第3四半期 2,508百万円 (24.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	94.28	93.93
2024年3月期第3四半期	86.72	86.36

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	109,128	32,767	30.0
2024年3月期	79,996	31,219	39.0

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 32,722百万円 2024年3月期 31,171百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	-	21.00	-	21.00	42.00
2025年3月期	-	24.00	-		
2025年3月期（予想）				24.00	48.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	160,000	2.8	2,400	3.9	3,500	4.0	2,630	0.8	132.15

（注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期3Q	21,293,052株	2024年3月期	21,293,052株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	1,371,389株	2024年3月期	1,391,968株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期3Q	19,912,255株	2024年3月期3Q	20,288,608株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(重要な後発事象)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結会計期間におけるわが国経済は、激動が続く国際政治、物価と金融政策の間で揺れ動く市場、A I・D X化が進む産業革命など、激しい変動と進化が共存する混沌とした状況にあります。当建設業界においては、2024年度は、民間住宅投資、民間非住宅投資、公共投資全てにおいて、前年比プラスで推移すると予想され、業界全体としてプラスの中で推移すると見込まれます。

	2024年度見通し		内 訳		
	名 目 投資額 (兆円)	対前期 増減率 (%)			
建設投資	74.2	4.3	【民間】 ↗ (2.9%)	【政府】 ↗ (5.1%)	【リフォーム】 ↗ (6.3%)
民間住宅	17.0	2.0	【持家】 ↘ (△3.8%)	【貸家】 ↗ (2.9%)	【分譲】 ↘ (△3.0%)
民間非住宅	17.8	3.9	【事務所】 ↗ (6.2%)	【工場】 ↗ (1.4%)	【倉庫】 ↘ (△15.9%)
政府	23.8	5.1	【建築】 ↗ (7.9%)	【土木】 ↗ (3.6%)	
リフォーム	15.6	6.3	【民間】 ↗ (7.1%)	【政府】 ↗ (2.7%)	

(建設経済研究所資料より当社推定)

このような経済状況のなか、当社グループは中長期的な経営戦略に沿って、重点施策を着実に推進するとともに、積極的な営業活動を展開してまいりました。その結果、連結ベースの売上高は122,423百万円(前年同四半期比+5.6%)、売上総利益は13,020百万円(同+5.6%)となりました。販売費及び一般管理費は11,131百万円(同+6.7%)で、営業利益は1,888百万円(同△0.4%)、営業外損益は951百万円(同+6.6%)計上でき、経常利益は2,839百万円(同+1.9%)となりました。

特別損益は、投資有価証券売却益を特別利益に、また支払解決金等を特別損失に計上し、その結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,877百万円(同+6.7%)となりました。

## セグメント別に見ると

管材類は売上高が35,084百万円で、前年同四半期比895百万円の増加(同+2.6%)となりました。

これは主に、当第3四半期以降、プラント・半導体工場向け金属管材類の需要が低迷した一方で、空調用部材の在庫拡充・販売および、水道本管関連の需要が増加したことによるものです。

衛生陶器・金具類は売上高が35,191百万円で、前年同四半期比1,097百万円の増加(同+3.2%)となりました。

これは主に、新築住宅需要が減少した一方で、非住宅のリニューアル需要が堅調に推移したことおよび、素材価格等の高騰に伴う商品価格の改定を前に需要が増加したことによるものです。

住宅設備機器類は売上高が22,454百万円で、前年同四半期比2,224百万円の増加(同+11.0%)となりました。

これは主に、給湯機器類を中心に取替需要が増加したことおよび、省エネ機種商品であるエコジョーズ、ハイブリッド給湯器などの需要が増加したことによるものです。

空調・ポンプは売上高が28,601百万円で、前年同四半期比2,336百万円の増加(同+8.9%)となりました。

これは主に、空調機器類の需要が引き続き北海道、北日本エリアにて増加したことおよび、電気料金の高騰に伴い、省エネ型商品の需要が増加したことによるものです。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて、29,132百万円増加(+36.4%)し、109,128百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金並びに電子記録債権の増加等によるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べて、27,584百万円増加(+56.6%)し、76,361百万円となりました。これは主に、短期借入金増加等によるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて、1,547百万円増加(+5.0%)し、32,767百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点では通期業績予想等につきまして、2024年5月10日に発表した業績予想を修正せず、据え置いております。なお、業績予想を見直す必要が生じた場合には、速やかに開示する予定であります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,496	7,029
受取手形及び売掛金	25,113	30,848
電子記録債権	5,746	21,120
有価証券	—	200
商品	9,359	9,891
未成工事支出金	256	659
未収還付法人税等	167	36
その他	2,864	1,911
貸倒引当金	△17	△26
流動資産合計	48,986	71,672
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,842	8,884
減価償却累計額	△2,433	△2,633
建物及び構築物(純額)	2,409	6,251
機械装置及び運搬具	233	234
減価償却累計額	△179	△187
機械装置及び運搬具(純額)	54	47
土地	8,884	10,542
建設仮勘定	172	88
その他	1,112	1,240
減価償却累計額	△876	△915
その他(純額)	236	324
有形固定資産合計	11,757	17,255
無形固定資産		
のれん	20	16
その他	964	1,075
無形固定資産合計	984	1,092
投資その他の資産		
投資有価証券	10,414	11,358
長期貸付金	286	404
保険積立金	4,609	4,853
敷金及び保証金	1,481	948
退職給付に係る資産	728	753
繰延税金資産	150	152
その他	653	694
貸倒引当金	△57	△57
投資その他の資産合計	18,267	19,108
固定資産合計	31,009	37,456
資産合計	79,996	109,128

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,284	17,926
電子記録債務	14,341	14,805
短期借入金	5,684	29,190
1年内返済予定の長期借入金	1,319	1,766
未払法人税等	739	438
未成工事受入金	166	472
預り金	99	310
賞与引当金	571	318
その他	1,699	1,292
流動負債合計	41,905	66,520
固定負債		
長期借入金	2,386	5,081
繰延税金負債	3,041	3,287
再評価に係る繰延税金負債	316	316
役員退職慰労引当金	70	71
退職給付に係る負債	173	182
預り保証金	643	655
その他	239	246
固定負債合計	6,871	9,841
負債合計	48,777	76,361
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	542	542
資本剰余金	490	497
利益剰余金	27,200	28,182
自己株式	△1,007	△993
株主資本合計	27,225	28,228
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,239	3,797
土地再評価差額金	474	474
退職給付に係る調整累計額	231	221
その他の包括利益累計額合計	3,945	4,494
新株予約権	47	44
純資産合計	31,219	32,767
負債純資産合計	79,996	109,128

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	115,877	122,423
売上原価	103,548	109,403
売上総利益	12,329	13,020
販売費及び一般管理費	10,434	11,131
営業利益	1,895	1,888
営業外収益		
受取利息	11	16
受取配当金	226	293
仕入割引	619	666
その他	133	136
営業外収益合計	990	1,113
営業外費用		
支払利息	31	88
手形売却損	5	5
営業外手数料	33	47
その他	26	20
営業外費用合計	97	161
経常利益	2,787	2,839
特別利益		
投資有価証券売却益	123	138
特別利益合計	123	138
特別損失		
固定資産売却損	7	0
固定資産除却損	0	0
投資有価証券評価損	0	19
本社移転費用	21	—
立退補償金	74	—
支払解決金	—	34
その他	—	1
特別損失合計	103	57
税金等調整前四半期純利益	2,807	2,921
法人税等	1,054	1,043
四半期純利益	1,753	1,877
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△6	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,759	1,877

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	1,753	1,877
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	756	557
退職給付に係る調整額	△1	△9
その他の包括利益合計	755	548
四半期包括利益	2,508	2,425
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,514	2,425
非支配株主に係る四半期包括利益	△6	—



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	307百万円	406百万円
のれんの償却額	2	3

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計
	管材類	衛生陶器・ 金具類	住宅設備 機器類	空調・ポンプ	計		
売上高							
顧客との契約から生じる収益	34,188	34,094	20,229	26,264	114,777	962	115,739
その他の収益	—	—	—	—	—	138	138
計	34,188	34,094	20,229	26,264	114,777	1,100	115,877
セグメント利益 (注)2	4,618	3,506	1,776	2,446	12,347	△17	12,329

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流受託、情報システム、不動産賃貸及び軌道関係機器販売等の事業を含んでおります。また、セグメント別に把握することが困難な売上値引き(235百万円)及び売上割引(438百万円)を控除しております。

2. 販売費及び一般管理費をセグメント別に把握することが困難である為、セグメント利益は売上総利益であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	12,347
「その他」の区分の利益	△17
販売費及び一般管理費	△10,434
四半期連結財務諸表の営業利益	1,895

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

2023年7月1日付で山陰セキスイ商事株式会社の全株式を取得し、第2四半期連結会計期間に連結子会社といたしました。なお、当該事象による、のれんの増加額は当第3四半期連結累計会計期間において、21百万円であります。当該のれんについては、複数の報告セグメントに関わるのれんであるため報告セグメントに配分していません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計
	管材類	衛生陶器・ 金具類	住宅設備 機器類	空調・ポンプ	計		
売上高							
顧客との契約か ら生じる収益	35,084	35,191	22,454	28,601	121,331	964	122,295
その他の収益	-	-	-	-	-	127	127
計	35,084	35,191	22,454	28,601	121,331	1,091	122,423
セグメント利益 (注) 2	4,657	3,666	1,991	2,649	12,964	56	13,020

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流受託、情報システム、不動産賃貸及び軌道関係機器販売等の事業を含んでおります。また、セグメント別に把握することが困難な売上値引き(200百万円)及び売上割引(457百万円)を控除しております。

2. 販売費及び一般管理費をセグメント別に把握することが困難である為、セグメント利益は売上総利益であります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	12,964
「その他」の区分の利益	56
販売費及び一般管理費	△11,131
四半期連結財務諸表の営業利益	1,888

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

## 税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。